

令和5年度

大阪教育ゆめ基金 関連事業一覧



大阪府教育庁

大阪教育ゆめ基金について

大阪府では、大阪の子どもたちの「学び」と「はぐくみ」を支えるため、平成 20 年 12 月に「大阪教育ゆめ基金」を設置し、子どもたちの学力を向上させる取組みや、子どもたちの豊かな心をはぐくむための取組みなどに活用しています。

基金積立の財源について

大阪教育ゆめ基金は、広く府内外の個人や企業の皆様からご寄附を賜り、多くの方々のご協力によって支えられる基金となっています。

寄附実績（令和 6 年 3 月 31 日現在）

1, 102 件 702, 105, 713 円

基金活用事業について

令和5年度は、皆様からいただいたご寄附を次のような事業に活用しました。

- ・ 愛さつ OSAKA 展開事業（こころの再生府民運動） 3
- ・ 英語教育推進事業 4
- ・ 広報強化推進事業費 5
- ・ 子ども読書活動環境整備事業 6
- ・ 音声・拡大読書器購入事業 8
- ・ 小中学校における日本語指導推進事業 9
- ・ スポーツ指導・体力向上支援推進事業 10
- ・ スポーツ指導・体力向上支援推進事業（学校指定寄附活用分）・ 12
- ・ 特色づくり推進費（政策）（学校指定寄附活用分） 12
- ・ 部活動指導員等配置事業費 13
- ・ 不登校等対策支援事業費 14

1	愛さつ OSAKA 展開事業 (こころの再生府民運動)	事業費：385 万円 (基金活用額：385 万円)
---	---------------------------------------	-------------------------------------

府内の府立学校や私立学校・市町村立小中学校で実施する「あいさつ運動」では、のぼりを立て、地域や保護者の方にあいさつの大切さを呼びかけ、「こころの再生」府民運動の広報・啓発を行いました。

この「あいさつ運動」で使用するのぼり、ポールを作成したほか、地域の方々により広くこの活動を知っていただくために、ビブス（衣服の上から着用するメッシュ地のベスト）を作成し、あいさつ運動の際に着用していただきました。

また、学校の優れた取組みを表彰するとともに、表彰された取組みを紹介するリーフレット等を作成しました。



2	英語教育推進事業	事業費：61万円 （基金活用額：61万円）
---	----------	--------------------------

府立中学校及び府内の市町村立（政令市を除く）の小中学校等に在籍する児童・生徒及び府立高等学校あるいは私立高等学校に在籍する生徒が、授業で学んだ英語を活用し、ネイティブスピーカーとのコミュニケーション活動を行うことを通して、自らの英語学習への意欲を高めることを目的に、イングリッシュキャンプを実施しました。



過去のイングリッシュキャンプ実施風景

また、府立高等学校に在籍する生徒が、SDGsのテーマについて、海外の高校生と英語で交流したり、グループディスカッションを行ったり、海外の大学の教授等からの特別講演を聞くことにより、実践的英語コミュニケーション能力を高めるとともに、グローバルな視点を身に付けることを目的に、高校生国際会議を実施しました。

3	広報強化推進事業費	事業費：980万円 （基金活用額：632万円）
---	-----------	----------------------------

中学生や保護者の方々に、大阪府内の公立高校等の魅力と進路選択の際に必要な情報をお伝えするため、インテックス大阪で「大阪府公立高校進学フェア 2024」を開催しました。

当日は、府立高校をはじめとする府内すべての公立高校、職業学科を設置する府立知的障がい高等支援学校、府立視覚支援学校、高等部のある府立聴覚支援学校、大阪公立大学工業高等専門学校、大阪教育大学附属高校の合計 178 校が参加し、17,000 人を超える方々にご来場いただきました。

「大阪府公立高校進学フェア 2024」の様子



4	子ども読書活動環境整備事業	事業費：272万円 (基金活用額：272万円)
---	---------------	----------------------------

子どもたちが本に親しむきっかけを作るとともに、作家との交流を通じてより深く読書に興味・関心を高めるため、作家が学校園等を訪問して、子どもたちに対してワークショップやお話を行うオーサービジット事業を、OSAKA PAGE ONE キャンペーン推進会議メンバーご協力のもと、府内32校園（のべ校数）で実施しました。

また、読書から遠ざかりがちな中高生に対して、魅力的な本と出合う機会を拡大するため、子ども同士がゲーム感覚でおすすめの本を紹介しあうビブリオバトル（書評合戦）について、教員・図書館職員向け研修を実施し、学校や図書館へ普及を図るとともに、中高生の発表の場として、大阪府中高生ビブリオバトル大会を開催しました。

さらに、近年大阪府における在留外国人数及び日本語指導が必要な児童生徒数が増加傾向にあることから、日本語能力の水準に関わりなく、子どもが本を自由に読むことのできる環境を整備することを目的に、就学前の子ども用の外国語絵本を紹介したリーフレットを作成した他、「多言語によるえほんのひろば」を開催する等、多言語読書活動推進事業を実施しました。



外国語絵本リーフレット



多言語によるえほんのひろば

5	音声・拡大読書器購入事業	事業費：182,600円 (基金活用額：182,600円) <small>※円単位の金額です</small>
---	--------------	--

大阪府立中央図書館では、「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律（読書バリアフリー法）」に基づき、障がい者支援室を設け視覚障がいのある方の図書館利用に係る体制の整備を行っています。

現在、対面朗読サービスを行っていますが、さらなる障がい者サービスの向上に寄与するため、音声拡大読書器を導入しました。

この機器により多様な読み上げサービスに対応することができます。

音声・拡大読書器とは・・・

視覚障がい者が本や書類といった印刷物（活字が小さい新聞等）などを読むための機器です。

今回導入した機器はカメラで印刷物を読み取り、音声読み上げと同時に画面で大きく表示することができます。



○導入機器：
 快速よむべえ 単独モデル
 形式：YK-3100

6	小中学校における日本語指導推進事業	事業費：3,533万円 (基金活用額:1,703万円)
---	-------------------	--------------------------------

「小中学校における日本語指導推進事業」では、オンラインを活用した日本語指導の実施、外国人児童生徒支援員による児童生徒支援、日本語指導支援員による夜間中学の外国籍生徒への学習支援の3つに取り組んでいます。

オンラインを活用した日本語指導は、1人1台端末を活用し、少数散在している学校に在籍する日本語指導が十分に受けられていない児童生徒と、日本語指導員(4人)をオンラインでつなぎ日本語指導を行うものです。その結果、日本語能力のステージが1以上向上した割合は、94.9%となりました。また、母語を交えて他校の児童生徒と話をすることで、安心して学習する環境をつくることができました。

外国人児童生徒支援員は、府域に7人配置し、日本語指導が必要な児童生徒の学習面や生活面のサポートをしています。令和5年度は、当該児童生徒への相談対応が約7400件、保護者への相談が約180件であり、情報が届きにくい当該児童生徒・保護者から感謝されています。

日本語指導支援員は、外国籍生徒が多く通う夜間中学(府域6校)に1人ずつ配置し、日本語の支援が必要な生徒の個別指導や、授業の中で教員の補助者として生徒の支援を行いました。これにより、夜間中学の生徒は、初歩的な日本語を身に付け、授業でのやりとりや授業内容の理解が深まりました。

7	スポーツ指導・体力向上支援推進事業	事業費：258万円 (基金活用額：258万円)
---	-------------------	----------------------------

大阪の子どもたち（小学生）の心身の健やかな成長や体力の向上、運動習慣の定着を図るため、スポーツイベント等を開催するとともに、ICT活用による子どもの体力向上事業を実施するため、めっちゃMORIMORIスポーツテストを実施しました。

○ めっちゃWAKUWAKUスポーツ教室（令和5年7月26日）

開催実績 参加者 169名



○ めっちゃWAKUWAKU体育応援事業（水泳指導）

※府内小学校に（公社）井村アーティスティックスイミングクラブのコーチを派遣する取組み

開催実績 9市13校、784名（3年生375名、4年生409名）



○ おおさか子どもEKIDEN大会（令和6年2月10日）

参加実績 43チーム 344名



9	スポーツ指導・体力向上支援推進事業 (学校指定寄附活用分)	事業費：214万円 (基金活用額：214万円)
---	---	-----------------------------------

学校を指定したご寄附を活用し、以下のとおり取組を実施しました。

- 生野高等学校 : 1,142,000円 トレーニング器具の購入
- 大塚高等学校 : 999,900円 陸上競技(棒高跳び)用具の購入



↑ 生野高校 トレーニングルーム



↑ 大塚高校 陸上競技の様子

8	特色づくり推進費(政策) (学校指定寄附活用分)	事業費：897万円 (基金活用額：897万円)
---	------------------------------------	-----------------------------------

学校を指定したご寄附を活用し、以下のとおり取組を実施しました。

- 鳳高校 999,995円 学校図書室の本の購入
- 岸和田高校 4,971,105円 教室設置のプロジェクターの購入
- 北野高校 2,167,000円 創立150周年記念講演の実施
- 千里高校 830,049円 教室設置のプロジェクターの購入

10	部活動指導員等配置事業費	事業費：8,947万円 (基金活用額：114万円)
----	--------------	------------------------------

少子化の影響による生徒数の減少等に伴う活動機会の減少、休日を含めた教員の時間外勤務の長時間化、専門性のない教員の心理的負担が問題となっており、令和5年度から、ペアとなった近隣の2校が合同で部活動を行い、生徒の活動機会を確保するとともに、一方の学校の教員の付添いを不要とすることにより当該教員の負担を軽減することや、両校の顧問に専門性がない場合には、部活動指導員を配置する「部活動大阪モデル」の取り組みを進めました。

また、合同部活動実施に係る、学校間移動による生徒の負担を軽減するため交通用具（自転車）等を配備しました。



11	不登校等対策支援事業	事業費：11,804万円 (基金活用額：3,903万円)
----	------------	---------------------------------

不登校やその兆しのある子どもの校内の居場所として、府内小中学校101校の「校内教育支援ルーム」に支援人材を配置しました。「校内教育支援ルーム」では、通室する子どもに支援人材が寄り添って相談支援等を行うとともに、スクールカウンセラー等の専門家も関わることにより、より深く子どもの状況等を分析し、ICTを活用した学習指導など、子ども一人ひとりに合った多様な支援を実施しています。

「校内教育支援ルーム」があることにより、朝から教室に入りにくい子どもが、本ルームに立ち寄ってから教室に向かう、また、教室に居づらくなった子が、本ルームでクールダウンするなどの活用がすすみ、子どもがほっと一息ついて過ごすことのできる居場所として定着することにより、不登校を生み出しにくい学校づくりがすすんできています。

寄附金の申込み・納付方法



- ご寄附いただける場合、下記の3種類がございます。

郵送等での申込み

郵便、ファックス又は電子メールのいずれかの方法によりお申込みできます。

受付後、「納付書」等を送付いたしますので、大阪府の公金取扱金融機関の窓口でご入金いただけます。

電子申請による申込み

大阪府インターネット申請・申込サービスにてお申込みできます。

受付後、「納付書」等を送付いたしますので、大阪府の公金取扱金融機関の窓口でご入金いただけます。

電子申請による申込み(クレジットカード納付)

大阪府インターネット申請・申込サービスにてお申込みできます。

VISA、Master、JCB がご利用いただけます。

詳しくは大阪教育ゆめ基金ホームページ をご覧ください。

[大阪教育ゆめ基金 -Osaka Dream Education Fund-](#)

詳細はコチラ↓



大阪教育ゆめ基金に関する問合せ先

◆大阪教育ゆめ基金及び府立学校等への寄附について

大阪府教育庁 教育総務企画課予算グループ

Tel : 06-6944-6049

Fax : 06-6944-6884

E-mail : kyoisomu-g01@sbox.pref.osaka.lg.jp

◆私立高校等への寄附について

大阪府教育庁 私学課小中高振興グループ

Tel : 06-6944-6956

Fax : 06-6210-9276

E-mail : shigaku-jugyoryo@gbox.pref.osaka.lg.jp